



コンセプトは「丸と四角の対極」

～「アートノショーターミナル」完成式典～

平成28年度

施政方針

(全文)

本日、平成28年3月土庄町議会定例会において、平成28年度の予算案をはじめ、各議案をご審議いただくに当たり、私の町政運営に関する基本的な考え方と新年度施策の大綱について申し述べ、議員各位並びに町民の皆様への深いご理解とご協力を賜りたいと存じます。



町長就任から丸二年が経過し、早や任期折り返しの三年目を迎えました。

この二年間、議員各位をはじめ、町民の皆様、関係機関等のご支援、ご協力を賜りながら町政の発展のために全力で取り組んでまいりました。特に昨年は、土庄町合併六十周年という記念すべき年として、記念イベントや記念式典などを執り行いましたが、そのうちのひとつとして合併三十周年記念当時に埋められたタイムカプセルが三十年という時を経て掘り起こされました。当時の山脇町長からのメッセージに接し、歳月をこえて未来の栄光ある土庄町のまちづくりに対するエールと願いを託されたものと思いを新たにしております。諸先輩から学んだ多くの教えや思いを道しるべとして希望に満ちたまちづくりに向けて決意を新たに邁進してまいります。

さて、昨年のわが国の経済動向を振り返りますと、いわゆるアベノミクスの取り組みによる経済財政政策の推進もあって、景気は緩やかな回復基調となっており、これを受けて政府は、新たな三本の矢として「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の実現を掲げ、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」を打ち出しております。さらに、先月には日本銀行がさらなる金融緩和策としてマイナス金利の導入を実施するなど、景気へのテコ入れの動きが続いているものの、その効果は短期間には量りがたく、土庄町としても今後の景気の動向や国の施策の動向を注視しながら適切に対応

していく所存です。

土庄町におきましては、昨年に実施されました国勢調査の速報により、前回、前回の平成二十二年の調査から千八百十八人、率にして七・四％も減少したとの調査結果が出ており、急速な人口減少が進んでいることに大変危惧を抱いております。このような状況の中、昨年十月に、人口減少、地域経済縮小の克服を目的とした「まちの創生」に向けての具体的な施策を盛り込んだ「土庄町創生人口ビジョン」及び「土庄町創生総合戦略」を策定したところであります。

土庄町総合計画を念頭におきつつ総合戦略の施策を着実に実施し、長期的な視点で継続的に取り組むことにより、平成七十二年に人口約一万人を維持することを目標に掲げるとともに、あわせて「まちの創生」に向けた取り組みを展開してまいりたいと考えております。

それでは、平成二十八年度当初予算について申し上げます。まず、規模につきましては、一般会計の総額が、七十六億二千万円で前年度比四億千七百万円、五・二％の減としております。九つの特別会計の総額は、四十九億八千七百七十三千円で、前年度比六千八百九十九万七千円、一・二％の増、水道事業会計は、八億八千七十七千円で、前年度比二億八千六百六十三千円、二十四・五％の減としております。

次に、一般会計の歳入につきましては、主要内容を申し上げます。

町税は、前年度とほぼ同額となっております。

おり、地方譲与税は、一・五％の減、地方消費税等の地方交付金は、前年度とほぼ同額、地方交付税は、〇・八％の増となっております。国庫支出金は、港整備交付金、社会資本交付金などの減にともない、一〇・七％の減、県支出金は、次世代産業育成モデル事業の地方創生関係交付金などにより、二十四・六％の増加となっております。町債につきましては、小豆島中央病院建設の完了などにともない、五十三・七％の減となっております。

続きまして、平成二十八年度における主要な施策について、土庄町総合計画の五つの基本目標に沿って、ご説明申し上げます。なお、国の補正予算等により、平成二十七年度補正予算に計上したのも一部含まれておりますので、ご了承願います。

「住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり」

第一に「住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり」について申し上げます。

本年は、第三回目を迎える瀬戸内国際芸術祭が平成二十八年三月二十日から季節ごとに分かれ、のべ一〇八日間にわたり開催されます。今回のテーマである「連携」「食」「国際化」のテーマに沿って作品展開やイベントに取り組み、国内だけでなく外国人も含めた観光客の誘致、交流人口の増加、地域の活性化や町のイメージアップを積極的に図ってまいります。

今回は、ファッションデザイナーとして著名なコシノジュンコさんの作品

をはじめ、本町内で合計三十一作品の展開を予定しており、前回に比べ七作品の増加となっております。特に本町が強く要望してまいりました町内北部地区に初めて作品展開を行うこととしており、町内全域で以前にも増した盛り上がり、活性化が図られるものと期待しているところです。

この瀬戸内国際芸術祭と連動する私たちで、わが町独自に「歴史と文化・アート」の町「とのしょう」というテーマを掲げ、芸術祭関連イベントと位置付けるオリジナルイベントを展開してまいります。「オペラ 高山右近」「石の絵手紙ロード」や「小豆島 そうめんシンポジウム」の各イベントの開催を予定しており、芸術祭をさらに盛り上げ、相乗効果を生み出せるように取り組んでまいります。

また、芸術祭期間中の移動手段の確保としまして、臨時路線バスの運行や運航会社による小豆島豊島航路の旅客船の定員増などにより、利便性の向上を図ってまいります。

町としましては前回、前々回以上に、地域住民の皆様との連携はもとより他市町との連携を密にして、芸術祭の成功に向けて取り組んでまいるとともに、案内所の運営や外国人観光客の受け入れ体制などにも万全を期してまいりたいと考えております。

移住・定住人口の促進としまして、人口減少対策としての施策の充実にさらに取り組んでまいります。

現在、本町では移住に係る費用を軽減する移住促進事業補助金制度、空き家バンクに登録された住宅の改修費用

に対する空き家改修費補助金制度や短期の移住生活体験ができる島暮らし体験施設の整備などを実施しておりますが、さらなる取り組み強化を図るために、新たに小豆郡外から町内の民間賃貸住宅に入居された若年世帯または子育て世帯に家賃の一部及び賃貸住宅の契約時に係る費用の一部を助成する制度を香川県と連携して実施することとしております。また、引き続き県外での移住・定住イベントでのPR活動や各種の情報発信を積極的に行い、移住相談や移住の受け入れ体制などの充実を図ってまいります。

次に、地域経済の活性化に向けた布石として、平成二十七年に地方創生交付金を活用した次世代産業育成モデル事業を発起したところであり、引き続き健康に着目した野菜の次世代栽培システムの実用化研究を実施し、新たな産業モデルの育成とともに知的財産の構築に取り組んでまいります。

また、昨年十一月に京都産業大学と官学連携による地域振興のための包括協定を締結しました。本町としましては地域活性化の起爆剤として大きな期待を寄せており、交流人口の増大と人材育成、協働による地域振興を図れるよう大学との連携強化の具体策を協議するなど積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、貴重な地域資源である大坂城(石記念公園)を活用し、賑わいを創出するため、今後の活用方策につき、地元と協議しつつ、構想を練ってまいります。あわせて、将来的なさらなる

賑わいづくりの主体となる財団法人の設立等についても検討を進めてまいりたいと考えております。

農業の面では、イノシシ、シカ、サルなどの農作物の被害はもとより人的被害も懸念されていることから、さまざまな被害防止対策を講じているところであり、有害鳥獣の捕獲頭数が近年、大幅に増加するという状況にあり、町としましては住民からのさらなる対策強化への要望があると認識しており、地元自治会や小豆地区猟友会との連携強化はいうまでもなく、被害の軽減への対策に取り組んでまいります。本年度も引き続き、地元自治会や耕作者による地域の協議会と連携しながら、ワイヤーメッシュ柵や電気柵の設置を小豆地区、屋形崎地区、伊喜末地区、滝宮地区及び肥土山地区において予定しており、これら設置事業を支援してまいります。

また、香川県と連携しての特定鳥獣等個体群管理推進事業としまして、わなを主体として捕獲活動を実施することとしており、被害を軽減する対策を強化してまいります。

地産地消の促進として、生産者をはじめ関係者との連携強化に一層努めるとともに、地域産品として周知されてきました小豆島オリブ牛のブランドPRに一層取り組んでまいります。また、新たな地域産品として、ゴマの育成について試行を続けていきたいと考えております。

漁業の面では、六次産業化への新たな取り組みとしまして、本年度から離島流通効率化事業として、漁協との連

携により、流通の効率化を図るための施設の整備、機材の導入に対して支援を行うなど、漁業の振興を図ってまいります。さらに、収穫、加工、流通・販売を一体として行う六次産業化への取り組みを支援し、この取り組みを通して、漁業の担い手の確保、後継者の育成、販路の拡大、雇用機会の創出による定住促進を目指してまいります。

「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」

第二に「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」について申し上げます。

消防・救急体制の整備としましては、平成二十七年までに消防救急デジタル無線システムの整備、消防庁舎の建替えが完了し、施設設備の充実強化が図られることになりました。あわせて消防団組織の充実強化策として、消防団員確保のために消防団員応援制度への充実を図るとともに、消防団員の出勤報酬の引き上げを行ってまいります。その他、小豆島西消防署の完成にともない土庄分団屯所の建設工事を行うこととしております。

公共施設の耐震化対策として、役場庁舎については、耐震診断の結果、震度六強から震度七程度の大規模地震が発生した場合、地震の震動及び衝撃に対し、倒壊し、又は崩壊する危険性が高いとの診断を受け、災害対策本部の機能を有する施設としては、近い将来予想される南海トラフ地震への耐震化対策を順次進めて行かなければならない状況となっております。本年度予算

におきまして、事前調査として候補地調査委託料を計上し、さらに庁内に庁舎耐震対策検討委員会（仮称）を設置するなど、議員各位にお諮りしつつ、庁舎の耐震化に取り組んでいきたいと考えております。

防犯対策の推進としまして、犯罪発生を抑止効果と発生時における事件解決に資するため、港湾施設の他に防犯カメラの増設を行うなど、安全で安心なまちづくりに取り組んでまいります。

その他、近年地域で問題となっている空き家対策にも取り組んでまいります。人口減少、高齢化により管理されていない空き家が増加しており、防災面、衛生面などの問題の発生が危惧されております。このため、「空き家対策の推進に関する特別措置法」の趣旨のもと、町内の空き家の実態調査を行い、老朽危険空き家と認められる空き家の除去に対して助成を実施してまいります。

道路環境の整備としまして、小海線、要鉄川西線改良工事を計画的に実施し、安全で快適な道路環境の整備を図るとともに小豆島中央病院の開院や小豆島中央高校の開設予定による交通体系の変化に対応するため、国道四三六号線の子浦地区や県道屋形崎小江崎線の湖崎、赤穂屋地区の道路改良事業を国及び県の協力を得て、進めてまいります。

災害対策としまして、東内浜地区の急傾斜崩壊防止工事、五つの河川の自然災害防止事業及び大谷ポンプ場新設事業を実施し、災害の未然防止につなげてまいります。

港湾施設及び漁港施設の整備として、馬越港、田井漁港にかかる港整備交付金事業を継続して行っており、両事業とも本年度に完了し、両港の機能が大きく向上することになります。

水道事業においては、今後の人口減少や施設の老朽化に対応して、国費を活用しつつ水道事業の運営効率化を図るため、香川県と県内八市八町による広域水道事業体の設立を目指して、現在、香川県広域水道事業体設立準備協議会に加わっており、平成三十年四月の事業開始に向けた協議をさらに進めてまいります。

また、肥土山浄水場については、広域水道事業体において、国費を活用した整備を期するとともに、平成二十七年に着手した豊島簡易水道統合工事についても、本年度の完成に向けて着実に取り組んでまいります。

「子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり」

第三に「子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり」について申し上げます。

教育環境の充実ですが、平成二十一年度の土庄中学校の建替え、平成二十六年度の新土庄小学校の整備、さらに本年度には豊島小学校と豊島中学校を併設した校舎の耐震化及び改修工事が完了することから、懸案であった教育施設の耐震化も大きな進展を見たとところでありますが、引き続き幼稚園の耐震対策を進めるとともに今後の保育と幼児教育の場のあり方について議論を深め、町の将来を担う子ども

たちのために安全で安心な教育環境の充実を図ってまいります。

また、学校生活にうまく適応できない児童生徒の相談等を拡充させるために新たに土庄小学校にスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、児童生徒の基礎学力の定着及び向上を図るため、小学校と中学校に講師等を増員してまいります。

子育て支援としまして、第三子以降に祝金を支給するエンゼル祝金制度、中学校卒業までの子どもを対象にした医療費を無料にする子ども医療費の助成を引き続き実施いたします。また、子育て世代の経済的負担を軽減するため、幼稚園や保育料の利用料を減免する対象の拡充を図ってまいります。

さらに、本年度から初めて放課後児童健全育成事業として、就労等により保護者が留守にする放課後の時間帯や週末等に児童が安心して生活できる居場所を提供するため、放課後児童クラブを民営委託で開設いたします。あわせて豊島地区においても新たに放課後児童預かり事業を実施することとしており、子育て世代が仕事と子育ての両立を図れる環境づくりを支援してまいります。なお、既存の学校支援ボランティア事業や放課後子ども教室も継続して取り組んでまいります。

生涯学習活動の充実としまして、廃校となった旧北浦小学校校舎の改修工事を行い、公民館活動と地域コミュニティにおける活発な交流の場となる北浦公民館として、その有効活用を図ってまいります。



「住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり」

第四に「住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり」について申し上げます。

まず、地域医療の確保ですが、小豆医療圏における第二次救急医療体制の維持確保は、土庄町民の医療確保のみならず島嶼に位置する小豆郡という地域社会の存立基盤を形成する要素の一つであります。

こうした認識のもと、両町をはじめ関係者協議のもと土庄中央病院と内海病院とを統合する形で、二年の歳月と総事業費九十億円を投入した小豆島中央病院が完成いたしました。現在、四月一日の開業に向け、企業団と両町立病院とにおいて鋭意作業中であります。

新病院は、最新型のMRIを備えるなど高松医療圏域の二次救急病院に比べても遜色のない施設となっており、最重要事項であった医師の確保についても企業長を中心に、香川県、大学等各位のご助力のもと、相応の体制で臨めることとなりました。

しかしながら、離島のハンディキャップのもと、今後とも医師を不断に確保しつつ、新病院の組織と人員が有機的効率的に機能するには、なお職員の一層の努力と、本町はもとより関係機関の物心両面にわたる積極的支援が必要であり、何よりも町民各位の支援が欠かせません。本町としてさらに国県の助力を仰ぎつつ財政面で所要の措置を講ずるとともに、町民各位には、島外医療機関を第一次的に利用する前

に、新病院の利用をお考えいただくよう心からお願い申し上げます。

小豆医療圏が、公立二病院体制から公立一病院体制へと変化する中で、診療所と巡回診療の運営、また、へき地医療等対応すべき課題が生じてまいります。病院企業団、県、小豆郡医師会をはじめ関係の方々のご協力ご助力を仰ぎながら、鋭意課題への対応を進めてまいります。

地域福祉の充実としまして、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して、第三期地域福祉計画の策定に取り組んでまいります。

また、町民の生涯を通じた健康づくり推進のため、乳幼児健診や妊婦健診等の母子保健、各種の予防接種やがん検診などの取り組みを図ってまいります。国民健康保険では、本町の健康課題について分析したデータヘルス計画に基づく保健事業を実施してまいります。

高齢者福祉の充実としまして、第六期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に沿って、本年四月から介護予防、日常生活支援総合事業を実施するなど、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の実現に向けて取り組んでまいります。

また、介護施設の充実としまして、四海地区において、地域密着型サービス事業所の新設を予定しております。障害福祉につきましては、本年四月から障害者差別解消法が施行されることから、障害者差別のない取り組みと共生社会の充実に努めてまいります。

公共交通の確保につきましては、小豆島中央病院の開院及び小豆島中央高校の開校予定にともない、路線バス利用者の流れが大きく変わることから、路線バスの運行体系の抜本的な見直しを行いました。路線バスの運賃を上限三百円に値下げを行うとともに、ダイヤ編成、路線区間の延伸や乗り継ぎの改善などを実施しまして、利便性の向上と利用者の増加を目指してまいります。今後も引き続き小豆二町、有識者及び利用者等で構成される小豆島地域公共交通協議会の場において、あるべき公共交通の姿を考え、路線バスの確保維持へつなげてまいります。

「協働と連携により、自立するまちづくり」

最後に「協働と連携により、自立するまちづくり」について申し上げます。

広域連携の推進としまして、本年二月に高松市を中心とする三市五町において「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の連携協約を結んだところです。圏域内のさまざまな分野で相互に役割を分担して連携を図り、圏域全体の経済の活性化と魅力を高める取り組みを推進してまいります。

情報化の推進としまして、本年一月からマイナンバー制度の運用が開始されています。マイナンバーを取り扱う本町としましては個人情報保護を念頭に慎重な運用を図るためにセキュリティ対策を徹底するとともに、職員に对个人情報取扱いに関する研修などの措置を講じてまいります。

本町では、健全な行財政運営を目指

し、引き続き事務事業の見直し、経費の節減意識の徹底、職員の意識改革を促す職員研修等を実施するとともに、税等の徴収強化、町が保有する未利用財産の売却や貸付による自主財源の確保に取り組んでまいります。

また、歳入の確保という点だけではない、ふるさと納税への取り組み強化を図ってまいります。ふるさと納税を通じた町の魅力の情報発信、移住・交流人口の増大への影響力、地場産品のPR等による地域の活性化という効果は、まちの創生に向けた取り組みへの大きな機会の一つと捉えております。さらなる取り組みの強化を図ってまいります。

ここまで、町政運営の基本的な考え方と施策の一端を申し上げたところですが、人口減少、少子高齢化、地域経済縮小に対応すべくこれからのまちづくりは、総合計画を基本に国の地方創生の施策、町の総合戦略の施策と連動させながら、地域の特徴（郷土の自然、歴史、文化や芸術など）を生かした町の実情に合った具体的な施策を講じることにより、人口減少、地域経済縮小を克服しつつ、まちづくりの基本目標である住民が希望を持ち、住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり、誇りの持てるまちづくりにつなぐべくいくものと考えております。この実現を目指して鋭意取り組んでまいります。

以上、私の町政運営の基本姿勢と方針、並びに本日提案いたしました平成二十八年年度の予算案の概要を申し上げます。議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



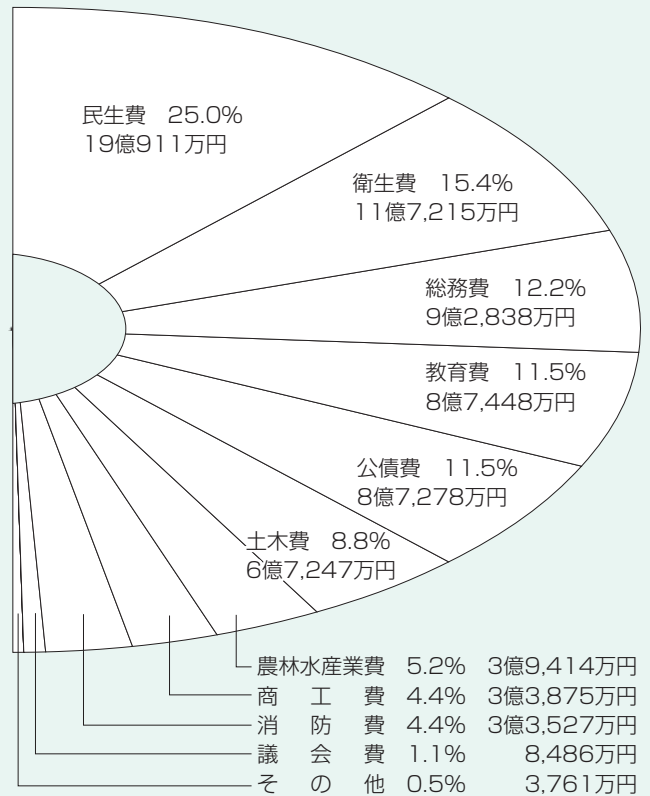
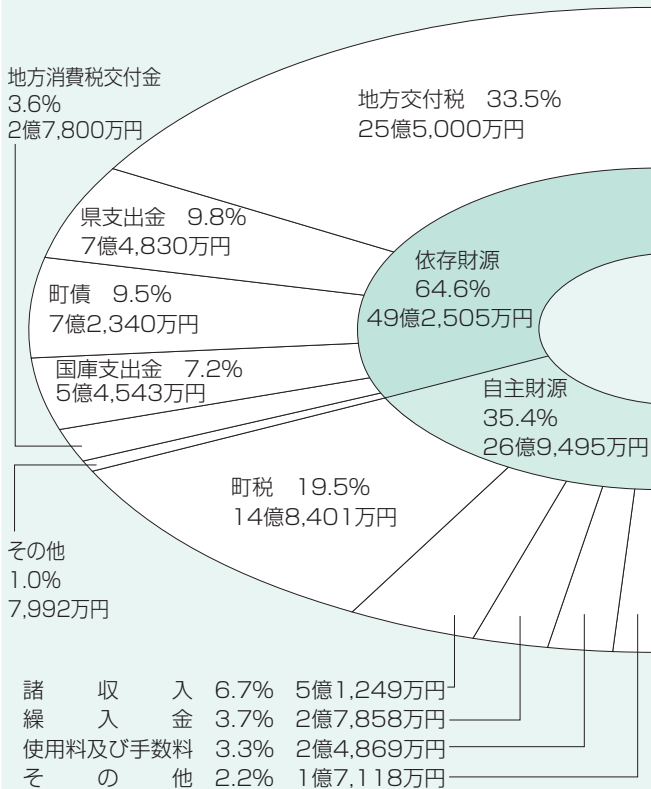
魅力ある、安心で快適な、支え合うまちづくりへ

総額 134億8,718万円

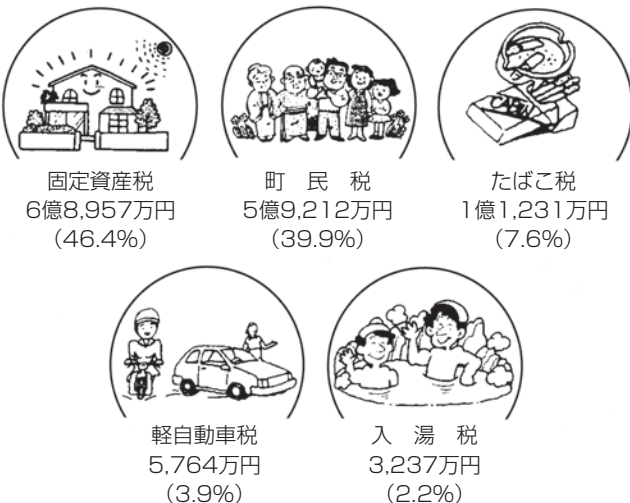
歳入

一般会計 76億2,000万円

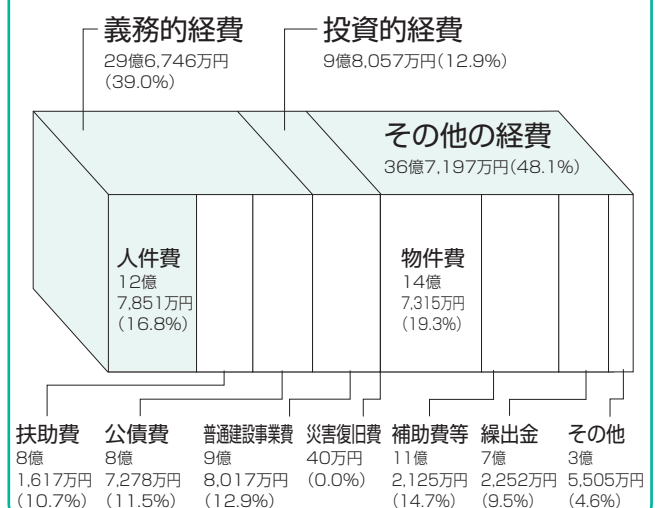
歳出



◆ 町税の内訳 ◆



◆ 性質別歳出 ◆



今年はこんな事業をします

住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり

瀬戸内国際芸術祭事業	1,468万円
観光団体・イベント助成事業	4,752万円
有害鳥獣被害防止対策事業	4,712万円
港整備交付金事業（田井漁港）	1億4,200万円
離島流通効率化事業	1,202万円
次世代産業育成モデル事業	1億8,893万円
移住交流推進事業	2,468万円
域学連携交流事業	238万円

誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり

社会資本交付金事業（大谷ポンプ場新設）	8,310万円
社会資本交付金事業（下水路長寿化）	9,925万円
土庄分団屯所建設事業	2,627万円
庁舎移転候補地調査事業	596万円
自然災害防止事業（河川）	6,450万円
自然災害防止事業（急傾斜）	1,473万円
町道新設改良事業	3,301万円
社会資本交付金事業（小海線改良）	1,271万円
社会資本交付金事業（要鉄川西線改良）	4,312万円
港整備交付金事業（馬越港）	2,904万円

子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり

瞳保育所建設事業	137万円
放課後児童健全育成事業	600万円
小学校スクールバス購入事業	1,500万円
旧北浦小学校校舎改修事業	7,082万円
選択無形民俗文化財記録作成事業	82万円
エンゼル祝金等支給事業	250万円
特定不妊治療費助成事業	60万円
放課後子ども教室事業	1,014万円
子ども医療費支給事業	1,664万円

住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり

地域福祉計画策定事業	242万円
病院事業	3億5,464万円
診療所整備事業	3,402万円
臨時福祉給付金給付事業	1,688万円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	900万円
離島振興事業	2,015万円
地域公共交通活性化・再生総合事業	1,303万円
老朽危険空き家対策事業	2,394万円
社会資本交付金事業（町営住宅改修）	3,085万円

協働と連携により、自律するまちづくり

ふるさと納税推進事業	6,085万円
地域活性化支援事業	948万円
自治振興助成事業	1,482万円
社会保障・税番号制度システム整備事業	1,127万円

平成28年度予算

本年度の一般会計予算は、総額76億2千万円で、前年度に比べて4億1千7百万円、率にして5.2%の減となりました。

厳しい財政状況の中、施策の重点化及び効率化を進め、第6次土庄町総合計画「きらめき創造プランとのしょう」の実現に向け、予算を編成しました。

3月議会定例会で可決、成立しましたので、そのあらましをお知らせします。

■ 特別会計予算 49億8,707万円

簡易水道事業	4億1,997万円
国民健康保険事業	22億4,587万円
港湾整備事業	7,556万円
宅地造成事業	7,979万円
大鐸財産区事業	777万円
農業集落排水事業	2,417万円
介護保険事業	17億9,580万円
福祉サービス事業	1億1,274万円
後期高齢者医療事業	2億2,540万円

■ 企業会計予算 8億8,011万円

水道事業	8億8,011万円
------	-----------

用語一口メモ

- 【一般会計】 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上した会計
- 【特別会計】 特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区別して個別に処理するための会計
- 【企業会計】 事業収益により企業方式で経営する会計
- 【自主財源】 町税など地方公共団体が自らの手で徴収または収納できるもの
- 【依存財源】 地方交付税や国庫支出金、町債（借入金）など他からの収入によるもの
- 【普通建設事業費】 道路、学校など公共施設の建設などに要する経費
- 【人件費】 職員や特別職の給与、議員・各種委員の報酬など
- 【補助費等】 各事業や団体への補助金や負担金
- 【物件費】 消耗品、臨時職員賃金、業務委託料などの消費的性質の経費
- 【公債費】 町の借金の元金、利子返済に要する経費
- 【扶助費】 医療費など社会保障制度の一環として法令に基づき支出される経費



春会期が開幕しました！



3月20日から瀬戸内国際芸術祭 2016 春会期が開幕し、初日から多くの観光客が島中で展開されているさまざまなアートを楽しんでいました。青い芸術祭のパスポートを首から下げて歩く人、マップを広げて島民に道案内を受ける人など、芸術祭のにぎわいが感じられる光景が各所に広がっています。

春会期は4月17日までです。おもてなしの心で観光客をお出迎えくださいますよう皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

土庄町新規アート作品紹介（春会期・豊島）

てしま やお よろ ず 豊島八百万ラボ

510円

アート：スプツニ子！ 建築：成瀬友梨・猪熊純

アーティスト・スプツニ子！が構想した先端科学とアートとのコラボレーションにより、新たな神話をうみだそうとする施設です。都市から離れた、豊かな自然に恵まれた場で、科学の進歩とともに歩む私たちの未来に、新たな視点を提示していく機会となっていくでしょう。



施設完成イメージ
提供：成瀬・猪熊建築設計事務所

はり こう ば 針工場

510円

大竹伸朗

豊島の家浦岡集落にて、平成を迎える手前で閉じられたメリヤス針の製造工場跡。そこに設置されたのは、宇和島の造船所にて一度も本来の役目を果たすことなく約30年間放置されていた、鯛網漁船の船体用の木型です。別々の記憶を背負った2つの存在が、アーティストを通して重ね合わせられ、新たな磁場となって作品空間を形成しています。



参考イメージ

ベネッセアートサイト直島 HP より引用

【芸術祭に関するお問い合わせ先】

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局 ☎087-813-0853 町役場商工観光課 ☎0879-62-7004

瀬戸内国際芸術祭 2016



3月19日、瀬戸内国際芸術祭2016土庄町オープニング式典が土庄港ターミナルで開催されました。

式典では、瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター北川フラム氏や福武財団理事長の福武総一郎氏など、約100名の参加者が見守る中、「アートノショーターミナル(コシノジュンコ/アトリエオモヤ)」の除幕式が執り行われました。また、式典の前後には芸術祭の盛況を願う「祝い太鼓」が地元の太鼓団体や土庄高校の生徒らによって披露されました。

ターミナルの1階では、太鼓を叩く強弱にあわせて10万個の光るビー玉を覆う布がはためき幻想的な光景を映し出す作品が、2階ではコシノジュンコ氏がデザインした14着のファッション作品が展示されています。小豆島の玄関口に立つ新しい観光・交流の拠点として、小豆島の魅力を国内外に発信する作品です。

3月20日、大部地区で「小豆島の木(竹腰耕平)」完成式典が行われました。

式典では、三枝町長が「大部地区での初の展示となるこの作品が、地元に愛され、地域の活性化に繋がることを願います」と挨拶を述べ、浜田香川県知事、久保田山口県宇部市長らの祝辞の後、テープカットが行われ、完成を祝福しました。

また、竹腰氏からは作品に対する深い思いや、完成までの苦勞、ご協力いただいた方々への感謝の言葉などが語られました。



瀬戸内国際芸術祭 2016 イベント E11 劇団道化座「大根の葉ーしあわせの記憶ー」

約70年前に書かれた母性溢れる壺井栄処女作「大根の葉」を、神戸を拠点に活動する劇団道化座が上演します。

■ 日 時／4月15日(金)・16日(土) 開場：17時

■ 開 演：17時45分(上演時間約90分)

■ 場 所／中山農村歌舞伎舞台

■ 料 金／一般前売1,500円

(当日2,000円(パスポート提示で1,800円))

小中高生前売・当日ともに1,000円

■ チケット発売日／4月14日(木)まで

■ チケット取扱い／小豆島オーリーブナビ、イマージュセンター、小豆島町立図書館、土庄町商工観光課、土庄町立中央公民館

■ 原作／壺井栄 ■ 脚本・演出／おおやかづき

■ 駐車場／中山公民館臨時駐車場、殿川ダム下公園
※駐車場が少ないので車でお越しはお控えください。

■ 無料送迎バス〈イマージュセンター⇄春日神社前〉

《行》イマージュセンター発 16時15分・16時45分・17時15分

《帰》春日神社前発 19時30分・20時00分

オーリーブバス(臨時便)／春日神社前発 19時40分

土庄港着 20時00分

■ 問い合わせ先／瀬戸内国際芸術祭総合インフォメーションセンター

☎087-813-2244



おめでとうぐわつます 平成27年度 土庄町教育委員会表彰



3月1日に中央公民館で土庄町教育委員会表彰の授与式が挙行されました。

教育表彰は、教育に関係のある研究や実践活動において、優秀な成績をおさめ、土庄町教育振興に寄与し、他の模範となった個人や団体に對して送られるものです。

今年度は11名の個人と2つの団体に授与されました。

(掲載は表彰順、学年および学校名は表彰時)

個人

藤岡 恵利乃さん(土庄小6年)

第65回社会を明るくする運動作文コンテスト

最優秀賞 香川県知事賞

渡り愛 華さん(土庄小2年)

平成27年度音読カップ香川大会
低学年の部 1位 金賞

西本 太洋さん(土庄中3年)

第53回四国中学校総合体育大会
柔道競技 男子73kg級 3位

日下 未子さん(土庄中3年)

第55回香川県中学校総合体育大会
陸上競技 女子共通四種競技 1位

石井 滉人さん(土庄中2年)

第57回香川県中学生陸上教室記録会
2年男子1500m 1位

丸嶋 紹雲(土庄中2年)

第46回香川県中学校柔道大会
男子90kg超級 1位

藤原 京加さん(土庄中2年)

第52回香川県中学校新人体育大会
柔道競技 女子63kg級 1位

多田 裕紀さん(豊島中3年)

第55回香川県中学校総合体育大会
陸上競技 男子共通走幅跳 1位

藤田 秀一さん(感謝状)

平成10年から現在まで土庄町文化財保護審議会委員を務め、町の文化財保護および調査、研究を積極的に行い、町民の文化的向上に努めた。成果として、調査報告書「土庄町の神と仏たち」など。

森 克允さん(感謝状)

「放哉」南郷庵友の会幹事および日本放哉学会会員として、尾崎放哉についての調査・研究を積極的に行い、放哉の顕彰に努めた。「尾崎放哉資料調査報告」を発行。

池田 眞子さん(感謝状)

平成14年度から旧土庄小学校で図書ボランティア活動に携わり、児童のためのより良い図書環境をつくることのできるよう自発的に働きかけ、ボランティア活動の運営・発展に大いに寄与した。

団体

土庄中学校 柔道部

サニックス旗福岡国際中学生柔道大会香川県予選 団体 1位

土庄中学校 相撲部

第52回香川県中学校新人体育大会
相撲競技 団体 1位



住民環境課からのお知らせ

持ち込みごみの処理料金改定のお知らせ

ごみの自己処理を促進するため、自らごみを持ち込む場合の処理料金体系を細分化し、今まで以上にごみを持ち込みやすくなります。

区 分	現 行 料 金
家庭系ごみ	2トン車未満 540円
事業系ごみ	2トン車未満 2,700円

↓

区 分	改 定 後 料 金
家庭系ごみ	1トン車未満 324円
	1トン車以上 2トン車未満 540円
事業系ごみ	1トン車未満 1,620円
	1トン車以上 2トン車未満 2,700円

※燃えるごみ・燃えないごみを1台に積んで来ても、別々に1車分ずつの料金がかかります。

※ごみを持ち込む際には許可書が必要です。事前に車にごみを積んだ状態で町役場住民環境課もしくは各地区公民館で申請してください。

なお、事業所から出るごみ（事業系一般廃棄物）については、平成28年度中に町直営の収集を中止する予定です。今後、事業系一般廃棄物は、直接持込または、町が許可した一般廃棄物収集運搬業者に依頼するようになります。ご理解ご協力をよろしくお願いします。

【問い合わせ先】 町役場住民環境課 ☎62-7010

個人番号カードに関するお知らせ

個人番号カードは、大量の申請が集中したため、現在、申請の受付から交付までに、およそ2～3か月の時間をいただいています。

交付の準備ができた方には、町役場住民環境課から順次、交付通知書（はがき）を送付しますので、申請された方で、交付通知書をまだ受け取っていない方は、今しばらくお待ちください。

※注意※

個人番号カードは、通知カードと引換えでの交付となりますので、受け取りの際は、窓口までお持ちください。

《住所異動などをする方へ》

住所・氏名などを変更する際は、新しい住所・氏名などをカードに記載しますので、通知カードまたは個人番号カードを窓口へお持ちください。

※注意※

個人番号カードを申請後、カードを受け取る前に他市町村へ引っ越しされた方は、転入先の市区町村で改めて申請が必要となります。

《問い合わせ先》

マイナンバー総合フリーダイヤル

0120-95-0178（無料）

平日：9時30分～20時

土・日・祝日：9時30分～17時30分

はい。こちら土庄町役場
〇〇課です。

「土庄町の新たな挑戦・

小豆島野菜工房（仮称）」

次世代産業育成モデル事業推進本部 参事 宮原 隆昌



地方創生の新たな挑戦として、土庄町では「健康に着目した野菜の次世代栽培システムの実証・研究事業」に着手しています。

近年、食の安全・安心、安定供給の観点と世界食市場規模の拡大から注目されている「植物工場」は全国的に増加傾向にあります。

約7割が赤字であると言われている、その大きな原因は「高コスト」と「管理・経営ノウハウの確立の難しさ」と言われています。

この事業では、世界的研究機関である国立研究開発法人理化学研究所、大学や民間研究所、県などと連携し、植物工場の課題である「環境制御」、「低コスト省電力システム」を研究・開発し、中小企業者でも参入できる「産業ビジネスモデル」の構築を目指します。

実証・研究材料となる植物は、注目されている機能性・高付加価値野菜の一つであり、カリウムを摂取できない疾病をお持ちの方でも生食できる「低カリウム

ムレタス」とし、柚の浜「瀬戸ふれあいセンター」に工場を建設、現在の事務所を改修、再利用し、遊休施設を活用して行います。

この場所は、瀬戸内海の夕日のスポットであり、全国からの視察を受け入れるとともに、町内はもとより全国を視野にいて販路を確保することで、全国、さらには世界にむけて土庄発「農・食・健」連携型産業ビジネスモデルを発信し、地域産業の活性化を図ります。

土庄町から世界へ、低カリウムレタスに土庄町の未来を託す「小豆島野菜工房（仮称）」新たな挑戦の一步を踏み出します。





福祉課からのお知らせ

土庄町福祉バス 停留所・運行時刻変更のお知らせ

土庄町福祉バスは、路線バスを利用しにくい地区の高齢者や障害者の方を対象に、医療機関への足を確保するため運行しています。

小豆島中央病院の開院・路線バスの路線拡大にともない、4月1日から停留所と運行時刻が次のとおり変更になります。

停留所

目島・元目・馬越浜のバス停を廃止

運行時刻

往路の出発時刻を変更

※復路の時間に変更はありません

【問い合わせ先】

町役場福祉課
☎62-7002



停留所および運行時刻

各地区から各医療機関へ	変更前
老人ホーム前	7:50 発
滝宮（東）	8:00 発
滝宮（八坂神社前）	8:07 発
目島（目島バス停）	8:12 発
元目（藤本商店前）	8:14 発
馬越浜（岡上商店前）	8:16 発
見目（空地地下）	8:22 発
見目（ナベツ集会所）	8:25 発
見目（空地上）	8:27 発
笠ヶ滝（龍湖寺前）	8:33 発
小馬越（公民館前）	8:35 発
土庄中学校前バス停	8:41 着
富丘通りバス停	8:44 着
土庄中央病院前バス停	8:45 着
本町バス停	
西本町バス停	
フェリーターミナルバス停	
マルナカ前バス停	
銀波浦バス停	

各地区から各医療機関へ	変更後
老人ホーム前	8:00 発
滝宮（八坂神社前）	8:10 発
滝宮（東）	8:12 発
見目（空地地下）	8:22 発
見目（ナベツ集会所）	8:25 発
見目（空地上）	8:27 発
笠ヶ滝（龍湖寺前）	8:33 発
小馬越（公民館前）	8:35 発
土庄中学校前バス停	8:41 着
富丘通りバス停	8:43 着
東洋紡績洲崎工場跡（土庄中央病院前バス停）	8:44 着
本町バス停	
西本町バス停	
フェリーターミナルバス停	
マルナカ前バス停	
銀波浦バス停	

後期高齢者医療保険料率の決定および均等割額の軽減基準の変更のお知らせ

○平成28年度・29年度保険料率の決定

平成28・29年度の保険料率については、医療給付費の増加などを踏まえて、次のとおり決定しました。また、平成28年4月から後期高齢者医療保険料の窓口は、福祉課から税務課に変更となりました。資格関係や給付関係は、今までどおり福祉課が窓口です。

区分	平成26・27年度	平成28・29年度	増加額（率）
均等割額	47,200円	47,300円	100円
所得割額	8.81%	9.26%	0.45%

○均等割額の軽減基準の変更

平成28年4月1日以降の均等割額の軽減基準は次のとおりです。

軽減割合	総所得金額等の合計額が下記に該当する世帯
9割	33万円以下で被保険者全員が年金収入80万円以下（その他所得がない場合）
8.5割	33万円以下で9割軽減に該当しない
5割	33万円＋（26.5万円×世帯の被保険者数）以下
2割	33万円＋（48万円×世帯の被保険者数）以下

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002 町役場税務課 ☎62-7001
香川県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎087-811-1866

重度障害児島外通院交通費補助制度の対象者が拡大されました

町では、島外の病院に車で通院する必要がある重度障害児（20歳未満）に対してフェリー車両運賃の一部を補助しています。平成28年4月から、要件の一部を次のとおり改正し、対象者を拡大しました。

変更前

- 船舶運航中に医療処置などの介助が必要
- 客室への移動ができない

2つを満たすこと

変更後

- 船舶運航中に医療処置などの介助が必要
- 歩行ができず、客室への移動に全介助が必要

どちらか1つを満たすこと

※医療処置などの介助が必要でなくても、歩くことができず、移動に保護者の全介助（抱っこ、車いすなど）が必要な方も対象になりました。

※その他、対象者の要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

福祉課からのお知らせ

高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金の申請受付を開始します

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者の方を支援するため、高齢者向け年金生活者等支援臨時給付金が支給されます。

給付金を受け取るためには申請が必要です。申請先は、平成27年1月1日時点で住民票がある市町村です。
※土庄町で給付対象となる可能性がある個人・世帯に申請書を郵送しますが、申請書が届いても給付金の対象とならない場合もあります。

【支給対象となる方】

平成27年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成29年3月31日までに65歳以上となる方

※住民税で課税者の扶養になっている場合や生活保護制度の被保護者になっている場合は除きます。

【支給額】

1人につき30,000円（支給は1回）

【申請期間】

平成28年4月25日(月)～7月25日(月)

（郵送の場合、7月25日の消印まで有効）

【郵送による申請方法】

申請書に同封の返信用封筒にて返信してください。

【直接役場に持参する方法】

受付場所：町役場1階高齢者向け給付金受付窓口

受付時間：8時30分～17時15分

（土・日曜日、祝日を除く）

【給付について】

申請受付から給付まで約1～2か月かかります。

【巡回窓口をご利用ください】

「高齢者向け給付金」の巡回窓口を開設します。なお、給付金を受け取るためには住民税の申告が必要です。未申告の方は、必ず町役場税務課または巡回日に各地区公民館へお越しください。

※巡回日以外は、公民館では住民税の申告受付ができません。

開設日	開設時間	開設場所
5月23日(月)	10:00～12:00 13:00～15:30	豊島公民館
5月24日(火)	9:00～12:00 13:30～16:30	大部公民館 北浦公民館
5月25日(水)	9:00～12:00 13:30～16:30	四海公民館 アクティブ大鐸

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

身体障害者相談員・知的障害者相談員の設置のお知らせ

平成28年4月から次の方に身体障害者相談員および知的障害者相談員を委嘱しています。身体障害・知的障害に関する相談がありましたら、お気軽にご相談ください。

○身体障害者相談員 ○知的障害者相談員
川井 孝夫 岡 裕
田中 保久

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

国民年金保険料の金額が変わりました

月額16,260円(平成28年4月分～平成29年3月分)

国民年金保険料は日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。

また、便利でお得な口座振替による納付方法もあります。お申し込みの際は、通帳、印鑑（金融機関の届出印）が必要です。

【問い合わせ先】

高松東年金事務所 ☎087-861-3866

町役場福祉課 ☎62-7002

東日本大震災義援金のお願い

皆さまからお預かりした義援金については、日本赤十字社を通じて被災地へお届けしています。

平成28年4月からは町役場福祉課のみで義援金を受け付けます。ご協力をよろしくお願いします。

《義援金（平成28年2月29日現在）》

個人・団体	5,506,969円
土庄町自治会連絡協議会	2,762,696円
土庄町議会	150,000円
土 庄 町	1,000,000円
土庄町職員	619,000円
合 計	10,038,665円

香川県後期高齢者医療広域連合懇話会 公募委員募集のお知らせ

後期高齢者医療制度の施行および運営に関し、被保険者の代表者の一人として、意見を述べていただく懇話会の委員を2名募集します。

▶募集期間／4月15日(金)～5月16日(月)

▶応募資格／香川県内に住所を有する満75歳以上の方（平成28年4月1日現在）

【問い合わせ先】

香川県後期高齢者医療広域連合事務局

☎087-811-1866

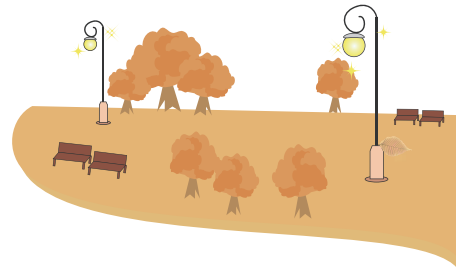


建設課からのお知らせ

防犯街灯（LED）新設事業のご案内

町では、昨年度に引き続き、集落内の安全確保や交通事故防止のための防犯街灯（LED）新設事業を実施します。

この新設事業は、町道の防犯街灯を新設する場合に限り、自治会からの申請により町が設置工事を行うものです。



申請の方法

防犯街灯の設置が必要な場所がありましたら、自治会を通じて、町役場建設課に申請してください。

※引渡後の維持管理、修理などに要する一切の経費は自治会の負担となります。

※予算の範囲内で緊急性の高い箇所から選定しますので、ご希望に添えない場合もあります。

【申請・問い合わせ先】 町役場建設課 ☎62-7006

住宅の耐震対策支援事業の拡充のお知らせ

町では、平成23年から町内の住宅に対して耐震診断・耐震改修工事にかかった費用の一部を補助しています。平成28年4月から補助内容を次のとおり拡充しました。この機会に住宅の耐震対策をご検討ください。詳しくは、町役場建設課までお問い合わせください。

【対象となる住宅の要件】

- ①昭和56年5月以前に建てられた戸建住宅、長屋、併用住宅（住宅の用に供する部分が過半以上のものに限り）
- ②建築基準法の規定に基づく違反がないこと
- ③耐震診断や耐震改修工事を行った後、主たる居住の場として、引き続き利用すること
- ④簡易耐震改修工事は木造のみ
- ⑤耐震改修工事にあたっては、耐震診断により、倒壊する危険性があるとされたもの
- ⑥民間住宅耐震対策支援事業交付要綱に基づく耐震対策を過去に行っていないこと

【補助の内容】

- ①耐震診断に要した費用の10分の9
(限度額9万円)
- ②耐震改修工事に要した費用の2分の1
(限度額90万円)
- ③簡易耐震改修工事（評価値0.7以上）に要した費用
(限度額50万円)
- ④耐震シェルター等設置工事に要した費用
(限度額20万円)

【注意事項】

- ①町内に在する住宅が対象です。
- ②所定の講習を受けた建築士が耐震診断をする必要があります。その他別途要件があります。

【申請・問い合わせ先】 町役場建設課 ☎62-7006

農林水産課からのお知らせ

銃によるシカ捕獲を実施します

捕獲期間

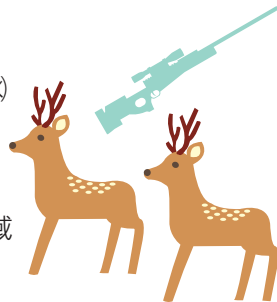
4月10日(日)～6月8日(水)
日の出から日没まで

捕獲区域

豊島地区を除く町内全域
(重点区域)
北浦地区から大部地区

※シカの捕獲は小豆地区猟友会の会員が銃を使って行います。大変危険ですので、捕獲期間中は山の中に入らないようにご協力をお願いします。

【問い合わせ先】 町役場農林水産課 ☎62-7007



小豆地区消防本部からのお知らせ

町民電話案内サービスのお知らせ

小豆地区消防本部では、新指令システムの導入に伴い、火災・救助出動時における町民電話案内サービスを開始しています。

火災・救助出動時、発生場所などの問い合わせは次の町民電話案内サービスをご利用ください。

町民電話案内サービス
☎62-7119

※119番は緊急通報専用ですので、問い合わせなどでの使用はご遠慮ください。

【問い合わせ先】 小豆地区消防本部 ☎62-2220

統合高校情報室

小豆島から
大きな未来へ!

いよいよ土庄高校・小豆島高校最後の1年、平成28年度が始まりました。両校とも統合に向けての準備と閉校に向けての準備を急ピッチに進めていかなければなりません。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第67回卒業式が挙行されました

3月1日に土庄高校において、3日に小豆島高校において卒業式が挙行されました。土庄高校からは、全日制課程124名(男子62名・女子62名)、定時制課程3名(男子2名・女子1名)が、小豆島高校からは、全日制課程98名(男子51名・女子47名)、定時制課程4名(男子4名)が卒業しました。進学や就職のため、島を出て頑張る者、島に残って守る者、それぞれの未来へ向かって希望をもって力強く羽ばたいていく若者たちに心よりエールを送りたいと思います。

「夢に向かって思いっきり チャレンジ!!」

交流リーダー研修成果発表

2月6日に豊島で行った「交流リーダー研修」の成果を、両校の生徒会役員がレポートにまとめました。研修を通して「両校が協力し合って、地元の人が地元の良さをわかる島にしていきたい。」「両校で、環境や勉強してきたことが異なっているからか、考え方や目のつけ所が違って面白かった。」など、統合に向けて前向きな思いや感想も持ったようです。参加者は、これからの高校生活や将来の自分の在り方に、真摯に向き合い、広い視野で物事を捉えていこうとしています。今回の成果物は、お世話になった豊島の方々に贈るとともに、両校で交換して掲示しました。このような取り組みを深めながら、統合に向けて生徒の意識を高めていこうと思います。

問い合わせ先

統合高校に関するご意見やご質問は syodoh02@kagawa-edu.jp までお願いします。

土庄高校・小豆島高校 担当 主幹教諭：塩田 ☎62-1388



第7回 地域おこし協力隊コーナー

Slow Island ~島の豊かな食と暮らし発見伝~

自給自足と循環型の豊かな暮らし

皆さん、こんにちは。すっかり暖かくなり、気分も新たに新年度がスタートしました！

先日、私は「豊島の玄米と野菜の海苔巻き」の会を行いました。今シーズンの新海苔、玄米、野菜、卵は全て豊島産！すべての食材が揃うところが豊島の素晴らしいところです！今回はマクロビオティックの調理方法を少し取り入れて砂糖を使わず、小豆島の塩とお醤油、梅酢、昆布と椎茸の出汁で作ってみました。いつもとちょっと違う太巻きでしたが、参加者には好評でした！

※マクロビオティックとは、穀物や野菜、海藻などを中心とする日本の伝統食をベースとした食事を摂ることにより、自然と調和をとりながら、健康な暮らしを実現する考え方。



また、「豊島の植物で草木染めの会」では、昨年移住された草木染めの得意な方に講師をお願いしました。豊島にたくさん自生している枇杷の葉を使って、ヘンプコットンの手ぬぐいを染めました。淡い桃色にきれいに染まって皆さん喜んでいました！染液には薬効成分もあるということでみんな手を浸したままおしゃべり。同じ集落に住んでいても移住者と島の方はなかなか会う機会も少なく、参加者同士「どこに住んでいるの？」などと会話が弾み、枇杷の葉のお茶を飲みながらとても楽しいひとときでした。

これからも豊島の魅力である自給自足の生活や豊かな自然を活かした循環型の暮らしの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

※ヘンプとは、クワ科の一年草。昔から医療や衣類などに多く利用され人々の生活に深く浸透してきた植物で、独特の風合いを持つ。





やすらぎプラザ ガイド

やすらぎプラザ ☎62-1234

保健センターだより

健康寿命を伸ばそう ～土庄町の健康課題は？①～



健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことです。この期間を伸ばすためにはどうすればいいのでしょうか？

土庄町国民健康保険健康事業実施計画（データヘルス計画）を策定するにあたって、土庄町の課題がみえてきました。今回は生活習慣の課題について紹介します。

《生活習慣》

次の割合が県や国に比べて、高くなっていました。

- ・週2回、1日30分以上の運動習慣がない。
- ・1日1時間以上の歩行または同等の身体活動の習慣がない。
- ・週3回以上、夕食後に間食をする。
- ・睡眠不足と感じている。
- ・男性の喫煙者数

※平成26年国民健康保険特定健診質問票より

からだの健康は歯と歯ぐきから！－成人歯科健診のご案内－

あなたは、定期的に歯科健診を受けていますか？

食事をおいしくしっかり食べる、家族や友人との会話を楽しむ、生き活きとした表情をつくるためには、健口であることが大切です。保健センターでは、年に4回、歯科健診を実施しています。歯周病予防のためにも、一度受診しましょう。歯科衛生士より、あなたに合った歯みがきの方法も教えてもらえます！

▶と き／4月14日(木)、7月7日(木)、10月27日(木)、平成29年2月16日(木) 13時～

※準備の都合上、必ず予約をお願いします。

▶ところ／やすらぎプラザ

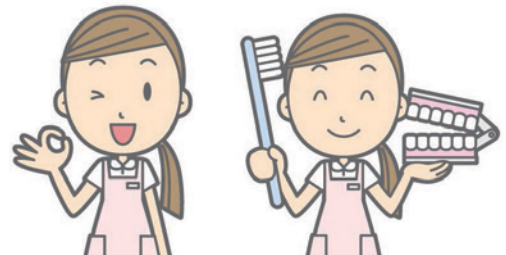
▶内 容／歯科衛生士によるブラッシング指導
歯科医師による歯科・歯周病健診

▶対象者／土庄町民で20歳～69歳の方

▶料 金／無料

▶申込期限／健診日の3日前まで

▶申込・問い合わせ先／保健センター ☎62-1234



【子どもの健康相談室】

小豆島中央病院小児科 山本真由美 先生

《小児科受診のときお願い：たくさん情報をください》

両親共働きだったり、核家族が当たり前のようになってきている昨今、お子さんの調子の悪い時に病院に連れてきていただくのが普段一緒に生活していない親戚の方ということでも、決して珍しいことではなくなっています。そんなときに困るのが、「あまり状況を聞いていない」という場合です。

いつからどのような症状があつて、どのくらい困っているのか。何かお薬を飲んでいないか。食事や水分摂取はできているのか。家庭内や、所属している集団での流行はどうか。アレルギーの有無。など、診療のときに必要な情報はたくさんあります。それは、ある程度の年齢以下のお子さんでは、連れてきてくださった方からお伺いするしかないのですが、その方も「いやー、一緒に住んでないからわからない」「連れて行ってと言

い、」と、困ります。小児科医は、お子さんを診察するのと同じくらい、問診を大事にしています。そのため、お子さんの様子が説明できる方と一緒にきていただきます。それが難しい場合には、詳しいメモをぜひ持たせてください。お薬手帳があれば必ず、また、乳児の場合には母子手帳も持ってきてくださると安心です。ご協力をお願いします。

まちのわだい

Town

Topics

■身近な出来事や話題など、皆さまからの情報をおまちしています。 町役場企画課 ☎62-7014

2/28 第12回土庄町フットサル大会

第12回土庄町フットサル大会がフレトピアホールで開催されました。

大会には、一般13チームが参加し、約120名の方がプレーを楽しみました。結果は次のとおりです。

優勝	MISHIMA
準優勝	Viva
3位	FC.MINAMI FC.CALRO



MISHIMA



Viva

2/27・28 たかまつ食と農のフェスタ2016

土庄町と小豆島とのしょう観光協会が協力し、地元の農産物のPRや地産地消の推進などを目的としてサンメッセ香川で開催された「たかまつ食と農のフェスタ2016」に参加しました。

ブースでは、小豆島産のオリーブオイルや豊島のいちごやレモンの加工品などの特産品販売のほか、観光パンフレットを配布し、来場者に小豆島土庄町の魅力を発信しました。



Town Topics

3/15 水源の森づくり in 小豆島

大部地区山林愛護会や大部地区子ども会など地元の方やボランティアの皆さんが参加し、豊かな緑と水を育む森林を目指して植林を始めてから今回で22回目を迎えました。

今回は、約80名が参加し、「山田ダム」の上流に、ヤマザクラとケヤキの苗木合計450本を0.15haにわたって植栽作業をしました。



3/6 第33回土庄町芸能まつり

土庄町文化協会および土庄町教育委員会が主催する第33回土庄町芸能まつりが中央公民館で開催され、町内で芸能活動に取り組む12団体が参加し、日頃磨いた技を披露しました。

また、今回は阿波踊りの「ぞめき三味線」を中心に活動しているグループ『福島流 阿波ぞめき渦の會』がゲスト出演されました。



Town Topics

3/26・27 パナソニックESブルーベルズバレーボール教室 in 小豆島

9人制女子バレーボールの全国大会で何度も優勝している、パナソニックESブルーベルズを講師にお招きし、フレトピアホールでバレーボール教室が開催されました。

1日目は小学生を対象にアップ、腕の振り方、スパイクのミート練習など基礎的な内容でしたが、選手の皆さんに優しく和気あいあいと指導していただき、ブルーベルズの皆さんと良い交流ができました。

2日目は小豆島のママさんバレーチームと高校生がブルーベルズと交流試合を行い、小豆島では体感することのできないトップレベルの実力を体感しました。

2日間とも新たな自分自身の課題や目標などを見つける、収穫の多い教室となりました。



3/15 町内の新1年生にランドセルカバー贈呈されました

土庄町交通安全母の会から町内の新1年生にランドセルカバーが贈呈されました。

贈呈式が行われた土庄小学校では、土庄町交通安全母の会の羽座会長から「6年間、交通事故がないように願いを込めてお渡しします。」との言葉とともにランドセルカバーが手渡され、赤谷校長が、「町内の4つの小学校が統合され1年経過しましたが、交通安全では、PTAの方の協力をいただきながら、事故がないよう新入学児童の交通安全に役立たせていただきます。」と受け取られました。

この春、希望に心を弾ませ、新しく学校生活をスタートさせる町内の新1年生は、土庄小学校91名・豊島小学校6名です。





図書館コーナー

☎62-0273

開館時間 午前9時～午後6時
(水曜日は午後7時まで)

休館日 毎週月曜日、4月30日(土)
5月3日(火)～5日(木)



催しもの

- 古文書を読む会
4月12日(火)、19日(火)、26日(火) 9時30分
- 映画会
4月17日(日) 14時
「ぼくとママの黄色い自転車」
- 大人のおりがみ教室
4月20日(水) 13時30分
※事前に申し込みが必要です。
- 英語教室
4月20日(水)、5月11日(水) 10時
「人間喜劇」
- 読書会
4月23日(土) 10時
- アメリカの歴史講座
4月24日(日) 13時30分

としょかんこどもまつり

今年もイベントが盛りだくさん！
みんなで楽しい一日を過ごしましょう！

- ★と き／5月8日(日) 9時15分
- ★と ころ／ほんとぴあ(中央図書館)
- ★イベント／腹話術、餅つき、おはなし、おりがみ、ドミノなど

ジュニアリーダー募集!!

**ジュニアリーダーとして
活躍してみませんか？**

ジュニアリーダーは、子ども会行事や地域行事へ積極的に参加しています。特に子ども会では、「小学生の良きお兄さん・お姉さん」として、活動のお手伝い(レクゲーム)など大切な役割を果たしています。

ジュニアリーダー活動に興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。

募集期間：4月4日(月)～5月31日(火)

【問い合わせ先】

町教育委員会事務局生涯学習課
町子ども会育成連絡協議会事務局
☎62-7013 FAX62-0387



新しい本

書 名	著 者
うちのご近所さん	群 ようこ
子の無い人生	酒井 順子
カナリア恋唄 お狂言師歌吉うきよ暦	杉本 章子
陽性	中尾 明慶
秋しぐれ	辻堂 魁
スタンダップダブル! 1・2	小路 幸也
浜村渚の計算ノート 5・6	青柳 碧人
翼を持つ少女	山本 弘
新・酔いどれ小藤次4	佐伯 泰英
たそがれどきに見つけたもの	朝倉かすみ
仙台ぐらし	伊坂幸太郎
ジャイロスコープ	伊坂幸太郎
谷崎潤一郎全集 第6・14巻	谷崎潤一郎
ミレニウム 4 上・下	ダヴィッド・ラザダーク
食堂つばめ 1・2・3	矢崎 存美
神戸電鉄殺人事件	西村京太郎
図書館の殺人	青崎 有吾
口入屋用心棒 33	鈴木 英治
点をつなぐ	加藤 千恵
幹事のアッコちゃん	柚木 麻子
神の値段	一色さゆり
また、同じ夢を見ていた	住野 よる
鼠、地獄を巡る	赤川 次郎
かんかん橋の向こう側	あさのあつこ
バラカ	桐野 夏生
擬宝珠のある橋	宇江佐真理
拳の先	角田 光代
マリコ、炎上	林 真理子
星座から見た地球	福 永 信

人権教育シリーズ⑧

長寿の時代をむかえて

人生80年という長寿の時代になり、高齢者も社会の重要な担い手として活動し、生活できる社会の実現が求められています。「いい年をして」「もう年だから引退したら」といった、年齢だけを理由に社会参加を妨げることは、人権侵害になります。

また、高齢化が進むと介護を必要とする人も増えてきます。社会保障制度の充実などの対策が進んでも、まだまだ家族に介護の負担が積み重なることが多く、高齢者虐待、財産の名義を変える、だましとるなどの問題も起きています。

高齢者虐待を防止するには、高齢者や家族を孤立させないことです。当事者が近隣との付き合いが少ないと、介護者が問題を抱え込みやすくなるほか、虐待の早期発見が難しい面もあります。

年齢に関係なく誰もが豊かな気持ちで幸せになりたいと思っています。高齢化が急速に進む現在、高齢者が安心して生きていける社会は、すべての人たちにとって幸せな社会です。

4月の行事予定

4月10日～5月9日

◆ 主な行事 ◆

- 4月17日 ○土庄町長杯ゲートボール大会
瀬戸ふれあいセンター 9:00
24日 ○土庄町民ゴルフ大会
小豆島シーサイドG.C 8:30
26日 ○こけ玉作り教室
戸形公民館 13:30
5月3日 ○肥土山農村歌舞伎奉納
肥土山の舞台 15:00

◆ 子育て支援センター ◆

- 4月12日 ○ピョーンと遊ぼうタイム 10:30
14日 ○ベビーマッサージ教室
(要予約) 10:00
15日 ○お散歩に行こう (要予約)
子育て支援センター集合
宮ノ下海岸 10:00
19日 ○戸形なかよし広場 (要予約)
戸形体育館 10:00
26日 ○4月・5月生まれ誕生会
(要予約) 10:30
毎週水曜日 ○絵本の読み聞かせ会
(図書館職員) 10:30

◆ やすらぎプラザ ◆

- 4月12日 ○からだところの相談室
(要予約) 9:30
14日 ○妊産婦・成人歯科健診
(要予約) 13:00
○歯みがき教室
(H26年4月～6月生まれ)
15:00
22日 ○子育て相談日
(妊婦～子ども) 10:00
○1歳児相談
(H27年3月～4月生まれ)
13:15
26日 ○ことばと聴こえの相談
(要予約) 10:00
27日 ○すこやかルーム (要予約)
(H28年2月生まれ) 10:00
○助産師のほっと相談室
11:00
28日 ○2歳児歯科健診
(H26年1月～2月生まれ)
13:00

毎月19日は「かがわ食育の日」
野菜を食べましょう！

◆ 相談案内 ◆

- 行政相談 (北浦公民館)
4月14日(木) 13:30～16:00
○心配ごと相談および交通事故相談
(総合福祉会館)
4月19日(火) 13:00～15:00
5月6日(金) 13:00～15:00
○年金相談 (豊島公民館)
4月22日(金) 11:00～16:00
(中央公民館)
5月6日(金) 10:00～15:00
○特設人権相談 (中央公民館)
4月26日(火) 10:00～15:00
〈小豆総合事務所保健福祉課 ☎62-1373〉
○こころの悩み相談 ※予約制
4月14日(木) 14:30～16:10

休日当番医のご案内

医療 Net さぬき (<http://www.qq.pref.kagawa.jp>) または各社新聞でご確認いただけます。
※一部変更される場合があります。

土庄高校閉校記念体育祭・ 閉校記念人文字撮影のご案内

- ★と き／5月7日(土) 9時10分～15時30分
※雨天の場合は5月9日(月)に延期
★ところ／土庄高校新グラウンド (体育祭)
土庄高校中央広場 (人文字の撮影)
★駐車場／中央グラウンド (消防署横) もしくは
フレトピアホール

《地域の方が参加可能な種目の時間帯 (目安)》

- 玉入れ 10:00～
綱引き 11:15～
人文字撮影 11:40～12:10
フォークダンス 14:40～

人文字のみの参加も大歓迎です。
詳しくは、土庄高校ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】土庄高校 ☎62-1388

献血から生まれる“愛の贈りもの” が貴い命を救います！

わずか40分で助かる命があります。

1年間に男性は3回、女性は2回までご協力いただけます。(男性は12週間後、女性は16週間後の同じ曜日から献血できます。)

【次回の献血】4月10日(日) 9時30分～15時

花のチャリティ会場(オリーブタウン内屋根付広場)

ベビーマッサージ教室のご案内

～赤ちゃん楽しくふれあいましょう！～

- ★と き／4月14日(木) 10時～11時
★ところ／子育て支援センター
★対象者／生後2か月～10か月の赤ちゃんと保護者
★準備物／バスタオル、赤ちゃんのお出かけ準備物
★参加料／300円 (オイル・資料代)
★講師／武部優子さん
(日本アタッチメント育児協会ABMインストラクター)
★その他／毎月第2木曜日に教室を開きます。
★申込・問い合わせ先／子育て支援センター
☎62-5990



春の親子自然観察会

「砂浜の観察とクラフトを楽しもう！」

小豆島の自然の中で自然観察をしながら、親子で触れ合いましょう。ぜひ、ご参加ください。

- ★と き／4月24日(日) 9時30分～11時30分
★ところ／白浜園地 (小豆島町池田 三都半島)
★持ち物／水筒、帽子、タオル、筆記用具
★内 容／砂浜の植物などを観察したり、打ち上げられたものを使ってクラフト作り
★定 員／30名程度 ※一般の方も参加できます。
★参加料／一人100円 (保険料として当日集金)
★申込期日／4月20日(木)まで
★申込・問い合わせ先／町教育委員会事務局
生涯学習課 ☎62-7013



はじめての選挙 18歳選挙権

～進学や就職などで引っ越したら住民票を移しましょう～

進学や就職などに伴い、実家を離れる方は、引っ越し先の市区町村へ住民票を移す必要があります。上下水道やゴミ処理、道路・公園の整備など、住民生活に欠かせない役割は住んでいる市区町村が担っています。夏の参議院選挙は、選挙権年齢の引下げにより、18歳・19歳の方々も投票できる見込みですが、選挙権を行使するためにも忘れずに住民票を移しましょう。



●春に引っ越しをされた方（予定の方）は注意が必要！！

選挙で投票する場所は、原則として住民票のある市区町村です。

ただし、春に引っ越しをした場合は、夏の参議院選挙に新住所地で投票することができない可能性があります。

●引っ越しても旧住所地で投票することができます！！

公職選挙法の改正により、新しく有権者となる18歳・19歳の方が春に引っ越しても、旧住所地に3か月以上住んでいた場合は、夏の選挙では旧住所地で投票できます。

また、選挙期間中に旧住所地で投票することができない場合は、不在者投票という制度を活用することもできます。

※新住所地で投票するためには、新住所地に転入届をした日から参議院選挙の公示日（選挙期日の少なくとも17日前）前日までに3か月以上住んでいることが条件となります。

【問い合わせ先】町選挙管理委員会 ☎62-7000

高齢者 ASV（先進安全自動車）普及促進事業のご案内

県では、高齢ドライバーの交通事故抑止を図るとともに、日常生活で自動車が手放せない高齢運転者のため、平成28年度から香川県独自の施策として、ASV(先進安全自動車)を購入する費用を補助します。

《補助対象者》

衝突被害軽減（自動）ブレーキなど ASV 装置を備えた乗用車（新車）を購入する県内在住の65歳以上の高齢者 ※自ら使用する場合に限り

《補助金額》

定額3万円

補助金予算総額に達した場合、補助金の交付申請を締め切る場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

《申込・問い合わせ先》

香川県危機管理総局くらし安全安心課
☎087-832-3230

農地法許可申請書などの受付締切日が変わりました

農地売買・貸借などの権利移動や農地転用をしようとするときは、農業委員会または県知事の許可が必要です。

農業委員会では従来、許可申請書の受付締切日を毎月15日までとしていましたが、平成28年4月受付分から毎月5日（その日が閉庁日に当たる場合は、その次の開庁日）までと変更されました。ご理解ご協力をよろしくお願いします。

なお、各種届出については随時受付を行っているものもありますので、詳しくは農業委員会事務局までご相談ください。

【問い合わせ先】

土庄町農業委員会事務局（町役場農林水産課内）
☎62-7007



春の全国交通安全運動

～県民総ぐるみで

交通死亡事故ワースト上位からの脱却～

《運動期間》

4月6日(水)～15日(金)の10日間

《運動重点》

- ※自動車の安全利用促進
- ※全ての座席のシートベルトの正しい着用の徹底
- ※飲酒運転の根絶
- ※交差点および交差点付近での交通事故防止
- ※若者の交通事故防止

広告を掲載しませんか

【広報とのしょう】

▶ 広告サイズ／1枠 縦4.5cm × 横8.5cm
(隣り合う2枠を1広告とすること可)

▶ 掲 載 料／1枠分 10,000円／月

▶ 申込期限／希望掲載号（毎月5日発行）の40日前まで

▶ 申込・問い合わせ先／町役場企画課 ☎62-7014

【豊島シャトルバス】

▶ 広告サイズ／車内1区画 A3サイズ

▶ 掲 載 料／車内1区画 2,000円／月

▶ 申込・問い合わせ先／町役場企画課 ☎62-7014

案内板

Information

募 集

土庄町職員

区 分	社会福祉士（正規職員）
募 集 人 員	1 名
応 募 資 格	①昭和 41 年 4 月 2 日以降に 生まれた方 ②普通自動車運転免許を有する方 ③社会福祉士の資格を有する方
申 込 書 類	①申込書（所定のもの） ②最終卒業学校の卒業証明書 （卒業証書の写し可） ③資格証書の写し
採用予定年月日	随 時
試験日時・場所	別途通知
申込書類請求開始日	4 月 5 日(火)
申 込 期 間	4 月 11 日(月)から 28 日(木)までの 平日午前 9 時から午後 5 時まで (郵送の場合は期間内必着)
申込・問い合わせ先	町役場企画課 ☎62-7014

相 談

遺言・相続に関する無料法律相談

- ▶とき／4月14日(木) 10時～16時
- ▶ところ／香川県弁護士会
(高松市丸の内2-22)
- ▶相談方法／面談(1人30分以内)
※完全予約制
- ▶申込期限／4月8日(金)まで
- ▶申込・問い合わせ先／
香川県弁護士会
☎087-822-3693

憲法週間記念無料法律相談

- ▶とき／4月27日(水) 10時～16時
(受付：9時30分～15時30分)

- ※予約不要（受付順）
- ※必ず時間内に受付をしてください。
- ▶ところ／高松家庭・簡易裁判所1階
(高松丸の内2-27)
- ▶相談方法／面談（30分程度）
- ▶問い合わせ先／香川県弁護士会
☎087-822-3693

イ ベ ント

「さくらの森」湯茶接待

小豆島とのしょう観光協会が
「さくらの森」湯茶接待を開催し
ます。

- ▶とき／4月10日(日) 10時～
- ▶ところ／蛙子池記念碑前
- ▶内容／先着150名様に煎茶と
和菓子のお接待（無料）
- ▶問い合わせ先／
小豆島とのしょう観光協会
☎62-2009

第2回英会話セミナー

「YOKOSO(ようこそ) SHODOSHIMA(小豆島)」

一緒に楽しく英会話を学び、外
国の方とお話ししてみませんか？

- ▶とき／4月13日(水) 18時～19時
(受付：17時30分～)
- ※事前に申し込みが必要です。
- ▶ところ／小豆島ふるさと村
ふるさと交流センター
- ▶内容／観光案内や挨拶など簡単な
英会話を学び、瀬戸内国際
芸術祭2016において実践
の場を設けます。
- ▶講師／森川 光与氏
(小豆島観光国際化アドバイザー)
島本 瑞生氏
(小豆島観光協会職員)
- ▶参加料／無料
- ▶申込・問い合わせ先／
(一社)小豆島観光協会
☎82-1775

第24回土庄町民ゴルフ大会

- ▶とき／4月24日(日) ※雨天決行
8時30分スタート
- ▶ところ／小豆島シーサイド G.C
- ▶参加資格／土庄町に住所を有
する方または事業
主、勤務者
- ▶ハンディキャップ／Wペリア方式
- ▶参加料／2,000円
(プレー費を除く)
- ▶定員／230名
- ▶申込期限／4月5日(火)～14日(木)
17時まで
※定員になり次第、締め切ります。
- ▶申込先／中央公民館
TGC 等各所属団体事務局
- ▶主催／土庄町民ゴルフ推進協議会
- ▶問い合わせ先／
TGC事務局(ヨシオカスポーツ)
☎62-0319

お 知 ら せ

優良運転者表彰が自己申告 になりました

安全協会会員で受賞を希望さ
れる方は、表彰自己申告書に必
要事項を記入の上、運転記録証
明書申請料630円を添えてお申
し込みください。

- ▶表彰該当者／
運転免許取得後10年以上、20
年以上、30年以上経過して、無
事故・無違反の模範運転者
- ▶申請期限／
10年以上…4月30日まで
(受賞は5月頃予定)
20年・30年以上…7月31日まで
(受賞は10月頃予定)
- ▶問い合わせ先／土庄交通安全協会
☎64-9110



区 分	3月1日	前月比	前年比	2月の動き
人 口	13,921	△17	△116	出生 4
男	6,527	△ 7	△ 9	死亡 17
女	7,394	△10	△107	転入 28
世帯数	6,032	△ 2	△ 43	転出 32



3月1日	小豆郡	土庄町	小豆島町
人 口	28,715	13,921	14,794
男	13,541	6,527	7,014
女	15,174	7,394	7,780
世 帯 数	12,425	6,032	6,393



町内の救急・火災概況（2月分）

	救 急	火 災
出動件数	34 件	出火件数 1 件
搬送人員	32 人	焼損面積 20 m ²



区 分	2月	1月からの累計
発生件数	3 件	7 件
死亡者数	0 人	1 人
負傷者数	3 人	6 人



3月20日	利水容量	貯水量	貯水率
吉田ダム	1,290,000 m ³	1,290,000 m ³	100.0%
殿川ダム	580,000 m ³	561,800 m ³	96.9%
山田ダム	194,000 m ³	194,000 m ³	100.0%



観測地	3月1日～19日	前年比
殿川ダム	50 ミリ	△39 ミリ
吉田ダム	57 ミリ	△51 ミリ
豊 島	52 ミリ	△50 ミリ

※人口は「香川県人口移動調査」によるもので、平成 27 年国勢調査速報値に基づく人口です。



町長室だより

三枝 邦彦

「待望の春満開！〜今が旬の小豆島〜」

桜花爛漫の季節となりました。春光麗らかな今日この頃、花の便りに心も弾みます。

3月20日、待ちに待った瀬戸内国際芸術祭2016が開幕しました。

先だって19日には、世界的に有名なデザイナー・コシノジュンコさんによる作品「アートノショーターミナル」の完成式典が盛大に行われました。

このネーミングには、名産の醤油の「醬」、伝統の継「承」、町の発展の「翔」、笑顔の「笑」そして土庄町の「庄」など、様々な「SHOW」により、土庄港がアートを通じて「ココロのターミナル」となって欲しいとの願いが込められています。まちを想う気持ちが、きっと多くの人々との交流を生み、その繋がりがさらにまちを豊かにしていくのかもしれない。

また小豆島高校野球部が夢の甲子園で躍動しました。甲子園のアルプススタンドをエンジ色で染め抜いた圧巻の大応援団が、17人の

島の子ども達に力の限りのエールを送り続けました。

私自身も「18番目」の部員として背番号18を背に、島を挙げての大応援団とともに応援しました。

また、選手宣誓の大役を果たした樋本主将の「当たり前にある日常のありがたさ」への感謝を込めた言葉に、自らを重ね合わせ、目を潤ませた方々も多かったのではないのでしょうか。

敗れはしましたが、その軌跡は決して色褪せることなく、全国に爽やかな旋風を残したことでしよう。釜石高校の栄誉を称えるとともに、みんなを笑顔にくれた島のヒーロー達に最上級の「ありがとう」を贈りたいと思います。

さらには大相撲大阪場所での琴勇輝の躍進など、何かと明るい話題が続く小豆島は、今まさに「旬」を迎えているといえるでしょう。この機を逃さず、これから「小豆島・土庄町」を外に強く発信してまいりたいと思います。

人の動き

2月21日〜3月20日受付

(敬称略)

◎掲載を辞退される方は

届出窓口でお申し出ください

★赤ちゃん誕生

おめでとう！
お祝いします

出生児

届出人

地区

坂井 健 岡井 龍 金井 希 中野 樹 中野 希 石井 沙 石井 弥 濱中 那

井 健 井 龍 井 希 村 樹 村 希 井 沙 井 弥 那 恭 那 恭 那 恭

孝文 茂壮 健吾 拓磨 敦介 恵介 真太郎 卓弥 友弥 伊喜末

♡ご結婚

おめでとう！
お祝いします

氏名

妻

地区

高橋 敬一 鍋聖 史 眞鍋 聖 史 眞鍋 聖 史

橋 敬一 鍋 聖 史 眞 鍋 聖 史 眞 鍋 聖 史

寺柳 東 赤穂 西 寺柳 東 赤穂 西 寺柳 東 赤穂 西

●おくやみ

ごめいふくを
お祈りします

氏名

届出人

地区

村重 保子 馬場 純子 富田 純子 塩田 純子 飛田 純子 太守 純子 三多 純子 新見 純子 下見 純子 亀井 純子 須藤 純子 瀬井 純子 高橋 純子 山本 純子

保子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子 純子

智弘子 志智弘子 尚孝 直哉 和弘 豊博 慶文 大智 慎大 法司 長浜 長浜 長浜 長浜 長浜 長浜 長浜 長浜 長浜

表紙の紹介

土庄港ターミナルで展開される「アートノショーターミナル」の完成式典が行われました。プロデューサーであり、世界的ファッションデザイナーでもあるコシノジュンコ氏は「丸い建物は大変特徴的。私自身のコンセプトは丸と四角の対極。四角は人間が作ったものであり、合理的なもの。この土庄港ターミナルは、丸を基調としてつくられており、1階の作品で使用されているビー玉も丸、2階で展示している作品も丸をテーマとしてデザインした。2階の作品は、1990年にアメリカのメトロポリタンミュージアムで展示したときの作品であるが、オリジナルで自信のある作品は永遠に新しいと思っている。」と語られました。



くらしのダイヤル

ご利用の際は直通ダイヤルへ

総務課 ☎62-7000
企画課 ☎62-7014
少子化対策室
地域医療再生対策室
税務課 ☎62-7001
住民環境課
戸籍・住民票 ☎62-7003
衛生・環境 ☎62-7010
人権推進室 ☎62-7015

福祉課 ☎62-7002
商工観光課 ☎62-7004
出納室 ☎62-7005
債権管理室 ☎62-7016
建設課 ☎62-7006
農林水産課 ☎62-7007
水道課 ☎62-7009
議会事務局 ☎62-7011

健康増進課 ☎62-1234
(やすらぎプラザ)
教育委員会事務局
教育総務課 ☎62-7012
生涯学習課 ☎62-7013
中央公民館 ☎62-0238
大鐺公民館 ☎62-0704
北浦公民館 ☎65-2050
四海公民館 ☎64-5050

豊島公民館 ☎68-2050
大部公民館 ☎67-2050
戸形公民館 ☎62-0108
湊崎公民館 ☎62-5990
土庄中央病院 ☎62-1211
中央図書館 ☎62-0273
子育て支援センター ☎62-5990
総合福祉会館 ☎62-2700
フレトピアホール ☎62-7077



環境にやさしい路線バスを利用しましょう！

